

Business REPORT

第56期中間報告書

2006年2月1日～2006年7月31日

point of VIEW vol.2

アントニオ・ストラディバリの先見性

時代を経て尚、 価値を高める。



特集
1

時を経るごとに、「美しさ」の価値を高める
[経年美化]

住まい手とともに、より美しく、心地よく、成長し続ける、住まい、まち、暮らし

特集
2

時を経るごとに、「住まい」の価値を高める
[パーソナル オーダーメイド シリーズ]

住まい手の要望とともに進化し続ける住宅提案システム

トップメッセージ 業績ハイライト 財務諸表

時代を経て尚、価値を高める。

 約300年経った現在でも、
超えることができない音色。

16世紀頃にイタリアで登場したヴァイオリンの原型から現在のヴァイオリンを完成させた一人、天才弦楽器製作者アントニオ・ストラディバリ(1644年頃 - 1737年)。彼の製作したヴァイオリンは「ストラディバリウス」と呼ばれ、その華麗で表現力豊かな音色は、パガニーニ、サラサーテをはじめとする多くの名ヴァイオリニストと聴衆を魅了し、愛され続けました。「ストラディバリウス」は約300年経った現在においてもヴァイオリンの頂点とされ、いまだ超えるものがない“神秘の楽器”とされています。

ストラディバリは、ヴァイオリン製作の聖地であるイタリア北西部のクレモナで生まれ育ち、11～14歳の頃から既に、弦楽器を作る工房で見習いとして働いていたといわれています。もっと美しく響かせたいと一心不乱に日夜研究に没頭し、その生涯をヴァイオリン製作に捧げたストラディバリは、約1,200のヴァイオリンを製作し、そのうち約600が現存しています。最高級の材料を使い、その多才さと完璧さで、彼の右に出るものはいないといわれる技術で製作された「ストラディバリウス」が奏でる美しい音色は、現代科学をもってしてもいまだ解明されていません。しかしながら、現代の弦楽器製作者の製作技術はストラディバリの時代を遙かに上回っています。



それにもかかわらず、「ストラディバリウス」の音色が優れているのは製作技術の高さだけでなく、木材の経年変化によるところが大きいといわれています。伐採され自然乾燥された木材は長い年月をかけて少しずつ性質が変化します。ヴァイオリンに関しては、この変化は劣化ではなく、乾燥し水分がなくなることで木材の密度・強度がより一層向上し、音の響きにさらなる深みと磨きをかけていくのです。歳月を経て尚、弾く者、聴く者を惹きつける理由はそこにあります。ストラディバリは、時を経るごとに円熟味を増す、ヴァイオリンの音響変化をも見越し、未来の私たちにその美しい音色を残してくれたのかもしれない。

時の経過とともに成熟する。
それは、積水ハウスが目指す未来のまちなみ。

現在においても私たちが「ストラディバリウス」の美しい音色を聴くことができるのは、製作当初より最高級のメンテナンスが施されていたからだという事実を見逃すことはできません。ヴァイオリンの本体は木材から出来ています。釘を一本も使用せず、^{にかわ}膠といわれる柔軟な接着剤で組み立てられますが、もちろん何百年と経つ間には壊れてしまいます。木材なので腐らないように注意が必要であり、湿気などにより伸縮してしまい板がはがれる場合もあります。「ストラディバリウス」という名器が今日まで受け継がれてきたその理由は、適切に手入れを重ねてきたからに他なりません。

時を経るごとに一層成熟し、いつまでもその価値を持続させるための努力 それはまさしく、積水ハウスが目指すまちなみにも共通する本質的なテーマといえます。より豊かで快適な住まいは、より美しく豊かなまちなみの中で実現されます。かけがえのない自然環境に負担をかけず保全に努め、安全・安心な住環境を確保し、地域文化を継承し、豊かなコミュニティを育成する こうした取り組みは、積水ハウスにとって未来に対する責任でもあると考えます。

積水ハウスでは今後とも地域の特性や歴史、文化、自然環境、そして未来を視野に入れ、住まい手とともにいつまでも高い価値を保持し続けるまちづくりに、積極的に取り組んでまいります。



未来へ向けた私たちのメッセージ

今 豊かな未来のために
→ 行うべきこと 1

経年美化

住まい手とともに、より美しく、心地よく
成長し続ける、住まい、まち、暮らしがあります。

時の経過とともに、住まい、まち、暮らし、そのすべての価値を高めていくこと。それこそが未来への財産を形成し、継承していくことです。積水ハウスは「経年美化」というテーマのもと、商品開発からまちづくり、リフォームなど、様々な提案、展開を行っています。

愛着や心の豊かさ、資産価値など、暮らしから生まれる
様々な価値を、住むほどに大きく育てること。

かけがえのない財産として住まいの価値を永続的に保つためには、住み始めたときの価値を、年を経ることに高めていく必要があります。積水ハウスは、住まい、そしてまちが、次代へと受け継ぐべき大切な財産であるとの想いから、長期的な視点で住まいの価値を捉え、「経年美化」というテーマを掲げています。それは、住まい手の経年(ライフサイクルの変化)に合わせて、住まいも、まちも、より暮らしやすく、

経年美化によってもたらされるもの



美しく経年していく。つまり、人、住まい、まち、すべてが関わり合うことで生まれる価値(資産価値や社会的意義、心地よさ、愛着、心の豊かさなど)を、住民と積水ハウスが協力し、ともに育て、高めていくということなのです。

いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりのために、
その基本方針を憲章として掲げています。

誰もがいつでも快適に暮らせる住環境(まち)創造のための基本方針として「まちづくり憲章」を策定しました。また、まちづくりを円滑に進めるためのコミュニティの提案など、「経年美化」を具現化していくための様々な取り組みを実施しています。

住まうほどに美しくなる。みんなで子どもたちを健やかに育む。 時を重ねるほどに輝きを増すまちをつくりたい。

実践

福岡 アイランドシティ てりは 「照葉のまち」

コミュニティが、まちの価値を高める

住まいを、まちを、暮らしを、みんなで成熟させていく。
「経年美化」を実現するまちがここにあります。

福岡市と積水ハウスを代表事業者とする企業連合
体が共同で開発する福岡アイランドシティ「照葉の
まち」は、人と自然が理想的に共生する先進モデル
都市として誕生しました。将来的には約1,500世帯
が生活することを想定しています。積水ハウスが「照
葉のまち」に思い描いたのは、住民が主体となり形
成するコミュニティによって、人、まち、暮らし、そのす
べてを自分たち自身が育て、完成させていくまち。つ
まり、未来へと続く価値を持った「経年美化」を実現
するまちなのです。その取り組みは、新しいまちの力
タチとして注目されています。

「照葉のまち」開発担当者の声

「照葉のまち」は、10年、20年、さらにその先を考えたまちづくりを目指しました。1年、2年で評価を得るまちではなく、子どもたちが大人になる頃、その素晴らしさを実感できるまち。子どもたちにとって「ふるさと」になるまちでなければいけない。私たちがご提案、ご提供するのには、そのきっかけとなるコミュニティの器であり、その仕掛けです。後は住まれる方が自分たちご自身で協力しながら、まちを育てていく。その過程の中で、一年一年、美しく、住み心地の良いまちができていく。そこにこそ、未来へと継承される価値が生まれると考えています。



みんなで関わり、つくること

「照葉まちづくり協会」を住民自らが運営し、美化活動などを積極的に実施しています。



自然とともに生きること

住民自らも草花などを植栽するなど、自然環境との共生を実践しています。

「照葉のまち」には、
「経年美化」を実現するまちづくりの
基本があります



子どもが真ん中にあること

豊かな自然を配するとともに、防犯にも注力することで子どもたちが安全に遊ぶことができます。



安全・安心に暮らすこと

車が自然に速度を落とす緩やかな曲線道路を採用しているため、歩行者にも安全です。

未来へ向けた私たちのメッセージ



パーソナル オーダーメイド シリーズ

次代に受け継がれる住まいづくりを目指し、
住まい手の要望とともに進化し続ける住宅提案システム。

住まい手の想いを自分らしい一邸に
オーダーメイドすること。

安定した品質と高い耐久性、万全のアフターサービス体制などを備えていること。住まい手のこだわりや夢、想いを自由に描いた空間が、年々、味わいを深めていくこと。「パーソナルオーダーメイド シリーズ」は、高品質でムラのない工業化住宅の良さを生かしつつ、多様化する市場ニーズに応えるデザイン、部材、仕様などを迅速に採り入れ、一年一年、進化し続ける住宅提案システム。“わが家”となる住まいとその価値

を、住まい手と積水ハウスがともに育て、ともに創ることをテーマに生まれました。「パーソナル オーダーメイド シリーズ」は「ビー フリー」や「ビー ダイナズ」、「シャーウッド」など当社商品の基本的なコンセプトとして展開しています。

「商品力」という価値と「愛着」という価値。
その進化が、時を経るごとに、
住宅そのものの価値を高める。

「パーソナルオーダーメイドシリーズ」は、百人百様の生活様式やこだわりを素早かつ確に対応し、進化、反映できる「商品力」を備えています。その「商品力」があるからこそ、暮らすほどに“わが家”としての「愛着」を抱ける住まいが提供できるのです。積水ハウスは、より柔軟に住まい手の様々な想いに応えることで、永く愛着を持って大切に住んでいただける住まいを実現し、時を経て尚、高い価値を持続する味わい深い住まいづくりを目指しています。



軽量鉄骨住宅「ビー フリー」



デザインコンクリート住宅「ビー ダイナズ」



木造住宅「シャーウッド」

もっと自由に、もっと楽しく、もっと自分らしく。

「パーソナル オーダーメイド シリーズ」 次代に受け継ぐ財産となる住宅価値の創造へ向けて。

実践 1 「商品力」という価値を高める

積水ハウスの住まいづくりは、お客様のライフスタイルや趣味、外観や内装に対するこだわりなどをお伺いし、自分に合った住まいのイメージをふくらませていただくところから始まります。「パーソナル オーダーメイド シリーズ」では、住まい手の多岐にわたる様々な声に応えるため、デザインや間取りの自由度、部材展開などの充実を図り、年々進化していく「商品力」により、住まい手の想いを“わが家”らしい一邸としてカタチにします。

積水ハウスが実践する、価値ある住まいの創り方

コンサルティング・ハウジング

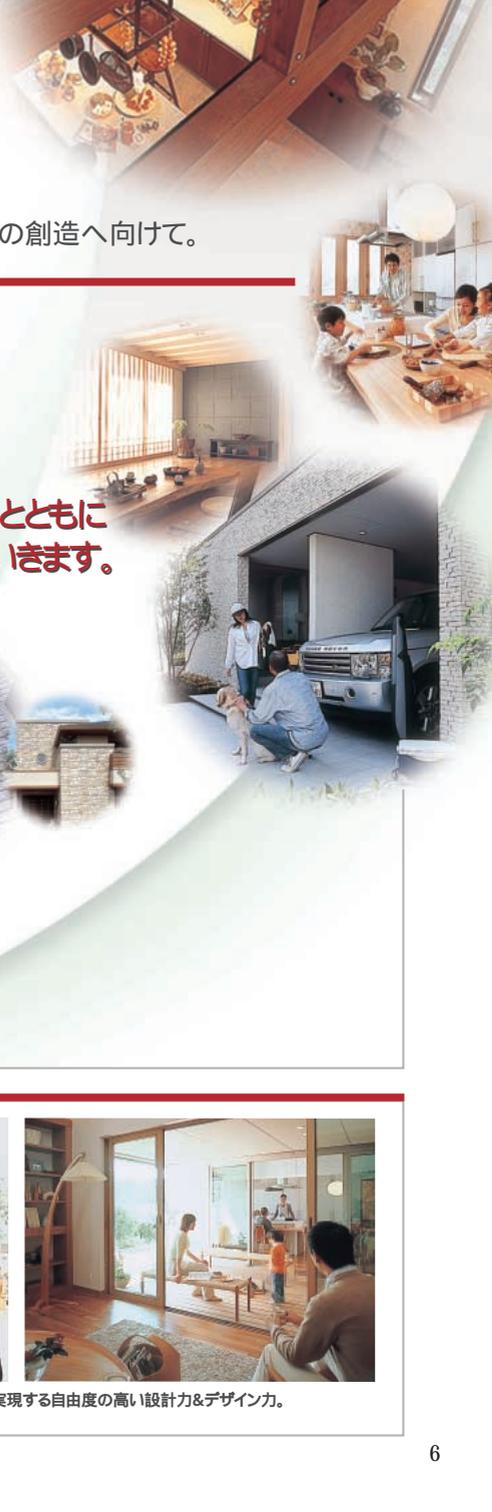
お客様の夢や理想にプロとしてのアドバイスを加え、唯一の住まいを提供するという営業姿勢



パーソナル オーダーメイド

常に進化しつづける「商品力」によって、永く愛着の持てる住まいを提供する商品システム

住まい手の要望とともに年々、進化していきます。



実践 2 「愛着」という価値を高める

住まい手のこだわりや夢を叶えるデザイン力、設計力。愛着を持って住み続けることができる、次世代に誇れるわが家。確かな性能や品質はそのまま、従来の工業化住宅のイメージとは一線を画し、住まい手自身がもっと自由にもっと楽しく住まいづくりに関わることにより、一邸一邸、一層の愛着が生まれる手づくり感のある住まいを実現します。



住まい手のこだわりや夢を実現する自由度の高い設計力&デザイン力。



TOP MESSAGE

株主の皆様へ

年々、美しさが深まる、価値が高まる。 「経年美化」がこれからのキーワードです。



量の確保から、質の向上へ。

今年6月、より良質な住宅の供給を目的として、住宅の品質向上や良好な景観育成などを求める「住生活基本法」が成立しました。住環境整備が、量から質へと大きな転換期をむかえている中、私は、かねてより訴え

ている「経年美化」というキーワードを改めて強調したいと考えています。

住宅や街並みは、時間が経つにつれて劣化する消費財だと思う方がいらっしゃるかもしれませんが、実際にはきちんと手入れをすれば、時を経るほどに美しさが深まります。その結果、年々住まい手の愛着が増し、地域の、さらに社会の財産として、その資産価値も高まります。

「経年美化」とは、大切な資源を無駄にしないこと。持続可能な社会を実現する「サステナビリティ」にも通じる考え方です。



「まちづくり憲章」を基に、
豊かなコミュニティを育てています。

豊かな住環境を継承していくためには、安全で安心なコミュニティを育む必要があります。積水ハウスでは、独自に定めた「まちづくり憲章」を基に、具体的な取り組みを全国で進めています。





▲ 1 福岡アイランドシティ「照葉のまち」
(詳しくはP4参照)

昨年、福岡市のアイランドシティに誕生した「照葉のまち¹」もその一例です。自治運営組織という“ご近所さん”を中心に、まちの美化活動やイベント開催、コミュニティホームページの運営など、「みんなで関わる」まちづくりが着実に実を結んでいます。

かつて日本のどこにでもあった心温まるご近所付き合い、四季折々の自然に彩られる公園や里山。今、求められている住環境の基本は、ITや科学技術で再生できるものではありません。人の心と自然の力、そして、時間が必要です。長期の視点を持ち、慌てず、急がないことも、「経年美化」の大切な柱のひとつだといえます。



積水ハウスは、未来に責任を持ち、
未来の価値を創造し続けます。

積水ハウスは、自宅の庭を小さな里山にする「5本の樹」計画を発展させ、今年7月、本社のある大阪「新梅田シティ」に、日本人の原風景である里山を手本とした「新・里山²」を誕生させました。棚田や野菜畑、自生種や在来種を植栽した雑木林などが、鳥や蝶など地域に生息する生き物の集う場となり、地域の生態系の保護にも寄与しています。また、東京の国立市には、自然という財産を、住まいを通じて次世代に引き継いでいくための研究、



◀▲ 2 新・里山

新梅田シティの北側部分、約8,000m²(2,400坪)の敷地を造成して誕生。都市環境と自然が融合する「社会コミュニケーション」の場を目指す。

実験を行う「サステナブル デザイン ラボラトリー³」を開設しました。今後も、人と自然、環境の関係を様々な角度から見つめ直し、「経年美化」を踏まえた住環境づくりを、より一層深めてまいります。

また、「住生活基本法」の成立により需要増が見込まれる中古住宅流通やリフォーム市場においても積極的な展開を考えています。さらに、今期の業績に貢献する「赤坂ガーデンシティ⁴」や来春完成予定の「東京ミッドタウンプロジェクト」などの開発事業にも注力してまいります。これからも、住宅メーカーの視点から積水ハウスらしさを存分に発揮し、企業価値向上に努めてまいります。



▲ 3 サステナブル デザイン ラボラトリー

自然の循環を支える「木から学ぶ」こと、日本の伝統的家屋における「日本の暮らし」の提案。この2つをコンセプトに様々な実証実験を行う研究施設。

うわべだけの見栄えの良さを求めるのではなく、常に未来に対して責任を持つ。「経年美化」は、積水ハウス自身の成長のキーワードにもなる言葉です。これからも、株主の皆様のご期待に応えるために、未来の価値を創造し続ける積水ハウスにご期待ください。



◀ 4 赤坂ガーデンシティ

東京都港区赤坂に建設した19階建のオフィスビル。敷地内に約2,500本の植樹を行うなど、環境とまちなみに配慮した開発を行う。

なお、今期は業績向上によるキャッシュ・フローの改善が見込まれます。よって株主の皆様への利益還元を拡大し、1株当たり2円を期末配当金に加え、年間22円の株主配当を予定いたしております。今後も業績の伸長に応じて、さらに積極的な利益還元を行ってまいります。

2006年9月

代表取締役社長 和田 勇

業績ハイライト(連結)

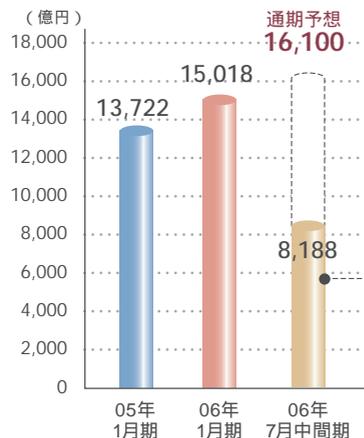


中間期のポイント

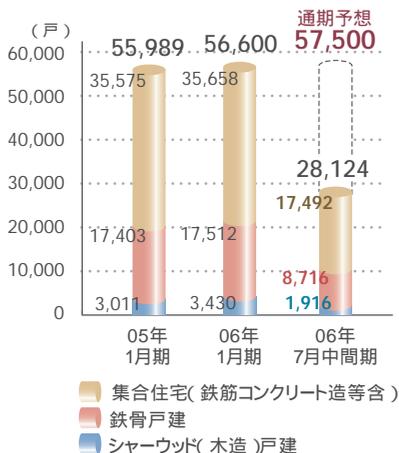
今期より事業の柱の1つとして位置づけている開発事業について、その第一弾である「赤坂ガーデンシティ」の一部売却が業績に貢献

- ① 売上高は、前年同期比で11.0%増加し、中間期において過去最高を達成
- ② 営業利益(前年同期比100.9%増)・経常利益(同100.5%増)・中間純利益(同128.1%増)においてもいずれも過去最高益を達成

売上高



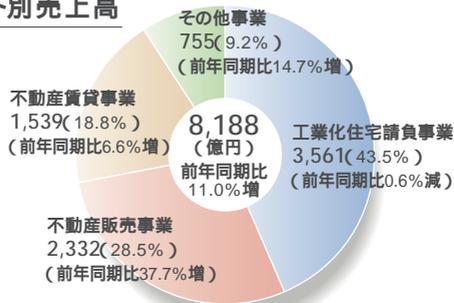
販売実績戸数(個別)



営業利益・経常利益・中間純利益



セグメント別売上高



各セグメントの主な事業内容

工業化住宅請負事業:鉄骨系、木質系及びコンクリート系の各種住宅やアパートの設計、施工及び請負を行っています。

不動産販売事業:住宅の分譲、不動産の売買及び分譲宅地上に建築する住宅の設計、施工及び請負を行っています。

不動産賃貸事業:戸建住宅、アパート、マンション、商業ビル等の賃貸借及び管理等を行っています。

その他事業:マンション、商業ビル等の設計、施工及び請負並びに住宅のリフォーム、造園、外構工事の設計、施工及び請負等を行っています。

連結財務諸表

売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
8,188億円	767億円	779億円	452億円
前年同期比 +11.0%	前年同期比 +100.9%	前年同期比 +100.5%	前年同期比 +128.1%

■ 連結貸借対照表の要旨

(当中間期: 2006年7月31日現在 前期: 2006年1月31日現在 前中間期: 2005年7月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前 期	前中間期	科 目	当中間期	前 期	前中間期
資産の部				負債の部			
流動資産	841,725	712,752	684,584	流動負債	357,711	326,864	308,577
固定資産	386,445	385,451	365,892	固定負債	82,765	85,304	85,144
有形固定資産	205,029	202,131	190,607	負債合計	440,477	412,168	393,721
無形固定資産	7,394	5,973	6,001	少数株主持分			
投資その他の資産	174,021	177,345	169,284	少数株主持分	—	271	349
				資本の部			
				資本合計	—	685,762	656,406
				負債・少数株主持分・資本合計	—	1,098,203	1,050,477
				純資産の部			
				純資産合計	787,694	—	—
資産合計	1,228,171	1,098,203	1,050,477	負債・純資産合計	1,228,171	—	—

従来の資本合計に相当する金額は787,424百万円です。

■ 連結損益計算書の要旨

(当中間期: 2006年2月1日～2006年7月31日)

(前中間期: 2005年2月1日～2005年7月31日) (単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
売上高	818,847	737,766
売上原価	634,268	595,955
販売費及び一般管理費	107,788	103,579
営業利益	76,789	38,231
営業外収益	2,994	2,943
営業外費用	1,862	2,320
経常利益	77,921	38,854
特別利益	114	396
特別損失	490	4,580
税金等調整前中間純利益	77,545	34,670
法人税、住民税及び事業税	25,797	4,595
法人税等調整額	6,442	10,196
少数株主利益	11	24
中間純利益	45,293	19,854

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(当中間期: 2006年2月1日～2006年7月31日)

(前中間期: 2005年2月1日～2005年7月31日) (単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	95,228	31,382
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,872	31,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,955	84,413
現金及び現金同等物に係る換算差額	68	107
現金及び現金同等物の増加額又は減少額()	141,380	84,254
現金及び現金同等物の期首残高	94,979	179,712
現金及び現金同等物の中間期末残高	236,360	95,457

財務諸表

売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
6,305億円	638億円	671億円	405億円
前年同期比 +12.4%	前年同期比 +130.2%	前年同期比 +123.6%	前年同期比 +161.8%

■ 貸借対照表の要旨

(当中間期:2006年7月31日現在 前期:2006年1月31日現在 前中間期:2005年7月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前 期	前中間期	科 目	当中間期	前 期	前中間期
資産の部				負債の部			
流動資産	752,734	618,305	581,972	流動負債	349,726	308,187	282,803
固定資産	361,430	358,647	344,466	固定負債	32,035	33,690	32,289
有形固定資産	162,748	159,612	148,461	負債合計	381,762	341,877	315,093
無形固定資産	5,444	3,988	4,009	資本の部			
投資その他の資産	193,237	195,046	191,995	資本合計	—	635,074	611,345
				負債・資本合計	—	976,952	926,438
				純資産の部			
				純資産合計	732,403	—	—
資産合計	1,114,165	976,952	926,438	負債・純資産合計	1,114,165	—	—

■ 損益計算書の要旨

(当中間期:2006年2月1日~2006年7月31日)
(前中間期:2005年2月1日~2005年7月31日)

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
売上高	630,565	560,933
売上原価	480,200	449,947
販売費及び一般管理費	86,550	83,261
営業利益	63,814	27,723
営業外収益	4,881	4,496
営業外費用	1,503	2,174
経常利益	67,192	30,046
特別利益	114	396
特別損失	409	4,548
税引前中間純利益	66,897	25,894
法人税、住民税及び事業税	21,499	240
法人税等調整額	4,865	10,169
中間純利益	40,533	15,485

■ 第56期中間期配当金

当中間期の配当金につきましては、1株当たり10円とさせていただきます、
期末配当金で1株当たり2円を加え、年間22円の配当を予定しています。

株式の状況 (2006年7月31日現在)

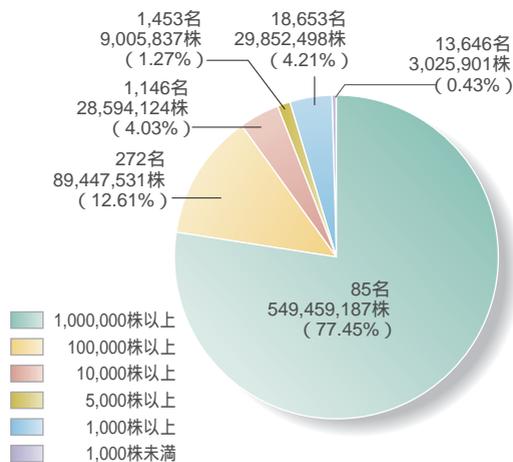
■ 株式の総数

発行可能株式総数	1,978,281,000株
発行済株式総数	709,385,078株
株主数	35,255名
株主1人当たり持株数	20,122株

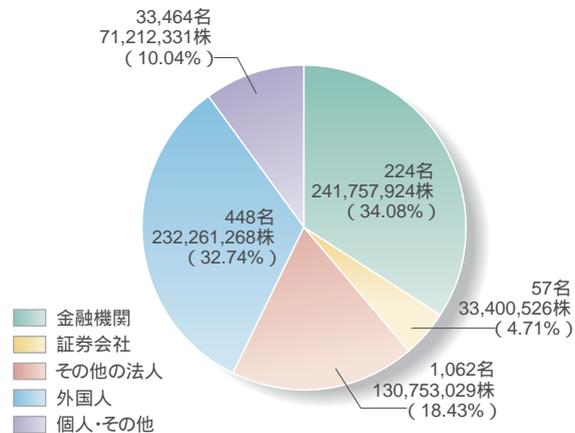
■ 大株主(上位10名)

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
積水化学工業株式会社	102,168,727	14.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	47,323,000	6.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	43,430,000	6.12
ヒーローアンドカンパニー	36,970,900	5.21
野村證券株式会社	27,574,323	3.89
第一生命保険相互会社	16,158,730	2.28
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,624,515	1.92
メロンバンクエヌエーアズエージェントフォーイツ クライアントメロンオムニバスユーエスベンション	12,991,291	1.83
積水ハウス育資会	10,755,101	1.52
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	9,863,652	1.39

■ 所有株数別株式分布状況



■ 所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	4月
基準日	利益配当金 1月31日 中間配当金 7月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。 通話料無料 TEL.0120-244-479(本店証券代行部) TEL.0120-684-479(大阪証券代行部) インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	東京・大阪・名古屋証券取引所 市場第1部

単元未満株式の買取・買増請求について

当社は、単元未満株式(1,000株未満の株式)を有する株主様に対して、その単元未満株式の買取請求のほか、併せて1,000株になる数の株式の買増請求もお受けいたしております。お手続きの詳細につきましては、上記株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行(株)までお問い合わせください。

なお、(株)証券保管振替機構をご利用の場合は、お取引の証券会社までお問い合わせください。

株主優待制度のご案内

当社では、ご所有株数に応じて提供する株主優待ポイントを当社グループとの取引にご利用頂けるという株主優待制度を実施いたしております。制度の詳細につきましては、当社インターネットホームページ(<http://www.sekisuihouse.co.jp/>)にて公開いたしておりますので、ご不明な点がございましたら下記お問合せ窓口にご連絡願います。

お問合せ窓口

積水ハウス株式会社 株主優待事務局(法務部内)

TEL.0120-559-990 通話料無料(ご利用時間 9:00~11:55、13:00~18:00)

但し、土日祝日、年末年始休及び夏季休暇中はご利用頂けません。

主な事業所

東京支社

〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目15番1号
(赤坂ガーデンシティ)
TEL.(03)5575-1700(代)

東北営業本部

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2丁目15番1号
(ルナル仙台)
TEL.(022)265-1705

埼玉営業本部

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1丁目7番5号
(ソニックシティビル)
TEL.(048)647-3931

中部第一営業本部

〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目18番1号
(ナディアパークビジネスセンタービル)
TEL.(052)265-1291

関西第一営業本部

〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番93号
(梅田スカイビル ガーデンシックス)
TEL.(06)6440-3645

中国営業本部

〒730-0041 広島市中区小町1番25号
(タケダ広島ビル)
TEL.(082)248-4330

特建事業本部

〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番88号
(梅田スカイビル タワーイースト)
TEL.(06)6440-3551

首都圏本部

〒151-8070 東京都渋谷区代々木2丁目1番1号
(新宿マインズタワー)
TEL.(03)6352-3200

東京営業本部

〒151-8070 東京都渋谷区代々木2丁目1番1号
(新宿マインズタワー)
TEL.(03)6352-3200

関東東営業本部

〒261-7119 千葉市美浜区中瀬2丁目6番地
(WBGマリブイースト)
TEL.(043)350-1811

中部第二営業本部

〒422-8067 静岡県駿河区南町18番1号
(サウスポット静岡)
TEL.(054)284-1222

関西第二営業本部

〒604-8186 京都市中京区烏丸御池梅屋町358番地
(アーパネックス御池ビル西館)
TEL.(075)211-6201

四国営業本部

〒761-8062 香川県高松市室新町1019番地1
TEL.(087)867-5101

マンション事業本部

〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番88号
(梅田スカイビル タワーイースト)
TEL.(06)6440-3561

西日本本部

〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番93号
(梅田スカイビル ガーデンシックス)
TEL.(06)6440-3645

神奈川営業本部

〒244-0805 神奈川県横浜市戸塚区川上町85番地3
(SSビル)
TEL.(045)826-6510

北関東営業本部

〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り2丁目1番5号
(明治安田生命ビル)
TEL.(028)636-6761

北陸営業本部

〒920-0853 石川県金沢市本町2丁目15番1号
(ボルテ金沢)
TEL.(076)221-8181

兵庫営業本部

〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通7丁目1番15号
(三宮ビル南館)
TEL.(078)251-3663

九州営業本部

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3丁目25番21号
(博多駅前ビジネスセンター)
TEL.(092)472-3211

開発事業本部

〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番88号
(梅田スカイビル タワーイースト)
TEL.(06)6440-3563

積水ハウス株式会社

本社 〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番88号(梅田スカイビル タワーイースト)
TEL.(06)6440-3111(代) <http://www.sekisuihouse.co.jp/>